

# 学校裏サイト探偵社

## 先生が監視不可能なネットいじめをパトロール

### 1校50万円から承ります

各地の中高生が非公式に開設している「学校裏サイト」について、ネット関連企業ガイアックスが今月、発見・監視サービスを始めた。同社によると、

**ガイアックスに問い合わせ殺到**

この種の業務は全国初。同サイトをめぐっては中傷や生徒の個人情報などが匿名で書き込まれ、ネットいじめや自殺につながるなど社会問題化。だが、学校レベルでは対応が困難だった。すでに全国約20の学校、教育委員会から問い合わせが寄せられる反響という。

**民間企業全国初**

ガイアックス（東京都渋谷区）によると、このサービスは「スクールガードアン」という名称。同社は掲示板やブログなどネット上の「コミュニティサーブिस」の開発・運営が専門のため、繁華街の不良行為を見回る保護者のように、「プロ」がサイバー空間を「パトロール」し、生徒の「ネット安全対策」に乗り出す格好だ。

民間企業がこの種の業務を手掛けるのは全国初といいい、今月7日にサービス開始後、これまで全国約20の学校、教育委員会から問い合わせが相次いでいる。

学校裏サイトをめぐっては特定の生徒への「キモい」「うざい」「死ぬ」などの悪質な中傷が書き込まれ、深刻な「ネットいじめ」に発展する例が目立つ。しかし、携帯電話のサイトに開設されたり、次々アドレスを変えたりするため、学校レベルの「素人」では、発見や対策が困難だった。

**独自の検索技術**

同社によると、このサービスはまず、学校などから依頼を受けた後、裏サイトを発見する。同社が保有する独自の検索技術に加え、裏サイトによく使われる掲示板をチェックしたり、掲

示板事業主サイドからの情報を得るなどして割り出していく。特定後は、その裏サイトの内容を分析し「危険度」を査定。そして、学校側に対策法を教えたり、継続的に監視を続けるなどしていく流れだ。

**通報窓口も設置**

特定生徒に対する中傷や個人情報、嫌がらせ画像などが掲示されていた場合は学校の代わりに、掲示板事業主などに対し削除要請を出す。また、ネット上や学校ごとの、生徒からの内部情報提供を受け付ける「通報窓口」も設置。料金は1校50万円からという。同社では、入国の中高の1校に1つは学校裏サイトがある現状だ。ただ、携帯電話に開設される例が多いほか、生徒は見つかるとすぐ、別の裏サイトを開くので、学校単位の調査では割り出すのが難しい面がある。弊社にはさまざまなノウハウがあり、現段階でははっきりの分らないが、7割程度の裏サイトは探し出せると見込んでいる」と自信をみせている。

【広部玄】